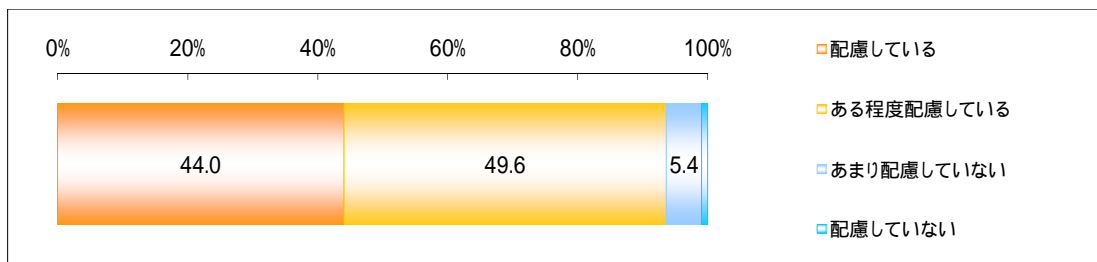


## 専門家の資質

景観等に関する協議・調整を行うにあたって専門家として考えるべきことについてお伺いします。以下の設問には、ご自身が景観等に関する協議・調整を「受ける側」の立場でお答えください。

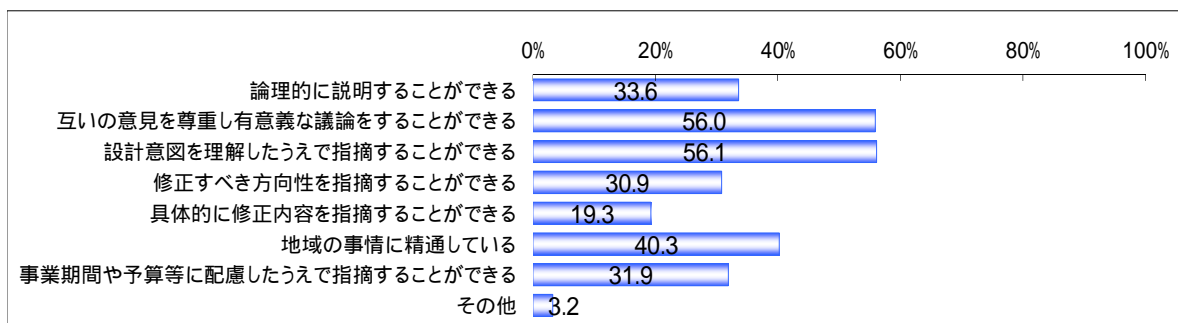
Q26. 業務を行うにあたって、周辺環境にどの程度配慮していますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=554)

業務を行うにあたって周辺環境に配慮していると回答した人はあわせると 92.6%となり、周辺環境に配慮していないと回答した人はあわせると 7.4%であった。



Q27. 景観等に関する協議・調整を行う側に求めることは何ですか。あなたの考えを教えてください。あてはまるものを3つまで選んでください。(3つまで)(n=554)

設計意図を理解したうえで指摘することができるが 56.1%と最も多く、次いで互いの意見を尊重し有意義な議論をすることができるが 56.0%、地域の事情に精通しているが 40.3%であった。



【参考】景観等に関する協議・調整の経験別にみた協議・調整を行う側に求めるもの

「受ける側」として関わったことがある人は、「事業期間や予算等に配慮したうえで指摘することができる」が42.4%で、他と比較して回答した割合が高かった。

「行う側」として関わったことがある人は、「論理的に説明することができる」が44.1%、「設計意図を理解したうえで指摘することができる」が61.8%と他と比較して回答した割合が高かった。

「受ける側」と「行う側」の両方で関わったことがある人は、「互いに意見を尊重し有意義な議論をすることができる」が65.9%、「地域の事情に精通している」が51.2%と他と比較して回答した割合が高かった。

